

Mランドニュース Vol.222

丹波ささ山校 令和7年10月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569

TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 近藤 正幸

<https://www.sasayama-ds.com/>

E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

志は山より高く。

吉田松陰

とことんこだわる大賞

顧客・環境課

石橋 学

二〇二五年も残すところ三か月となりました。今年度のテーマである「何事にもとことんこだわる」という小河吉彦会長の言葉は、社員一人ひとりの心に深く根付いています。

今月、「とことんこだわる大賞」としてご紹介するのは、お客様を気持ちよくお迎えするため、毎朝早くから教習車両の準備をする黒木正和さんです。



等間隔に並んだ教習車

黒木さんのこだわりは、教習車の「止め方」にあります。ただ車を停めるのではなく、前後左右の角度や車両同士の距離を、まるで定規で測ったかのようにきっちり揃えるのです。教習が始ま

ればすぐにバラバラになってしまうものですが、お客様が気持ちよく乗車できるようにこのひと手間を惜しみません。まさに「所作」そのものです。駐車スペースに入る前に、白線の幅と奥行きを目視で確認し、自車のサイズと照らし合わせながら、できるだけ真ん中を狙って進入します。ハンドルを切るタイミングは、ミラーと窓から見える白線との角度で微調整します。わずかに数センチのズレが仕上がり左右するため、とても慎重です。



先端もきっちりと

停車後も、必ず車から降りて、白線との距離や車体の傾き、先端の位置を入念に確認されます。少しでもズレがあればすぐに修正。特に「先端位置」で、前輪やバンパーが壁や縁石から等間隔に

なるよう、ミラーと目視で丁寧に確認します。さらに、ハンドルをまっすぐに戻してからエンジンを止めるのも、発進する際の違和感をなくすためです。

こうした日々の細やかな気配りは、インストラクターの士気も高まります。教習車両の並べ方ひとつにもこだわりを持ち、整理整頓を心掛けることの大切さを改めて感じました。

帰りたくない

Mランドでの合宿を終え、この夏Mランドを卒業していく二人の教習生から、心温まるお手紙が届きました。教習や受付でいつも明るく話しかけてくれた山下さんと大野さん。お二人からいただいた感謝のメッセージをご紹介します。



左 山下様 右 大野様

山下こと寧様

十三日間という短い期間でしたが、本当にありがとうございました！まだ卒業検定は明日なんですけど、もう卒業する気満々でこの手紙を書いています(笑)。車のことを何も知らなかった私に、危険性や安全運転のコツを優しく教えてくださった皆さんには、感謝しかありません。少し寂しいですが、名古屋に帰ります。いつかまた、遊びに来ます！



みんな大好き上向き童子

大野 心々様

二週間、本当にありがとうございました！学科も教習も毎日みっちり詰まっています。最初は正直帰りがたかったです。でも、インストラクターの皆さんも受付の皆さんもすごく優しく話しかけて、今では本当に帰りたい

くないです…永住したいです(笑)。

ごはんも美味しいし、寮もきれいで、Mランドを選んで本当によかったです！ここでの思い出を宝物にして、一生安全運転で過ごします。ありがとうございます！
I LOVE Mランド♡また来ます！

心温まるお手紙をありがとうございました。皆さんが「帰りたくない」「永住したい」と言ってくれたことは、私たちにとって最高の褒め言葉です。

Mランドが、ただ免許を取るだけでなく、かけがえない思い出の場所となったこと、心から嬉しく思います。ここでの出会いを大切に、これから始まる新たな道でも、どうぞ安全運転で、笑顔あふれる毎日をお過ごしください。Mランドは、皆さんの「ふるさと」として、いつでもここから応援しています。



卒業検定当日

二十年の感謝を込めて

Mランドフェスタ2025

事務局

夏の繁忙期が終わり、この地にも爽やかな秋風が吹き始めました。今年も多くのゲストに囲まれ、楽しいひとときを過ごせましたこと、心より感謝申し上げます。

今年の五月、Mランド丹波ささ山校としては開校二十周年を迎えました。皆さまからの温かいお祝いと激励に、改めてお礼を申し上げます。

さて、秋といえば、毎年恒例の「Mランドフェスタ」。第十七回目を迎える今年は、十一月九日(日)に開催いたします。

平成十八年に『収穫祭』として始まったこのイベントは、当時、卒業生を中心に秋の美味しい名物を楽しみながら思い出話に花を咲かせるイベントでした。回を重ねるごとに参加者が増え、「地元の方と一緒に何かを」と考え、地域の小・中・高校生にもご参加いただき、素敵な演奏やダンスを披露してもらいました。職員が腕を振った舞台も好評でした。

平成二十二年からは『Mランドフェスタ』と名を変え、規模も拡大。市民の皆様や卒業生と共に、市内のトイレ掃除やゴミ拾いなど、地域を美しくする活動も行ってきました。東日本大震災の復興への想いを伝える集いも実施。コロナ禍で一時休止も経験しましたが一昨年より再開しました。近年は便利なキッチンカーの出店も増え、新しい楽しみとなっています。

時代が変わっても、インストラクターによるカーパフォーマンスは今も健在です。記念すべき開校二十周年に行う今年のMランドフェスタ。

テーマは『とことんたのしみ』です。私たち「とことんたのしみましょう」。皆さまのお越しをお待ちしております。

父から子へ

やわらぎ課

課長 谷口 健

私には二人の子どもがいます。ミュージカルに出演したり、ダンスをしたりと、負けない強い中学一年生の長女。そして、市の陸上競技大会にリレーで出場した

り、オセロ大会で県大会まで進んだ小学五年生の長男。二人とも何ごとにも果敢にチャレンジする、活発な子どもたちです。そんな子どもたちですが、実はおとなしいところもよく似ていて、これは完全に父親譲りですね。

私の子育てには、いつも感動の涙が伴いました。子どもたちが生まれた時、初めて一人で立った時、言葉を話せるようになった時、入園式や入学式で緊張している姿を見た時。学習発表会で長いセリフを覚えて発表した時や、運動会で一生懸命走っている姿を見た時も、胸がいっぱいになりました。逆上がりができる時には、一緒に悔し涙を流しながら練習し、できるようになった時には嬉し涙を流したこともありました。長女が中学生になり、初めて自転車通学で長い道のりを行けるか心配する一方で、大きく成長した姿を見て、涙が止まらなかつたこともあります。

私が涙もろいのは、父譲りです。父は十三年前に七十一歳で他界しました。私たち家族のために懸命に働いてくれましたが、病に倒れて

入院し、三年間病院で寝たきりでした。小さな子どもが大好きだった父でしたが、孫の成長を見させてやることも、抱かせてやることもできませんでした。生前は、キャッチボールの相手をしてくれたり、試合の日は休みを取って応援に来てくれたりしたものです。孫の成長を見せてやることはできませんでしたが、きつと天国で泣きながら喜んでくれていると思います。私も、親父のような父親になりたいと心から願っています。



卒業式の家族写真

子どもたちが成長するにつれて、両親への感謝の気持ちと、苦労ばかりかけてしまったことへの反省の思いでいっぱいになります。

子どもたちには、人の気持ちに寄り添える人になってほしいと願っています。人が悲しんでいる時には励ますことができ、楽しんでいる人が

いれば一緒になって楽しみ、喜んでくれる人がいれば自分のことのように喜ぶことができる人になってほしい。常に感謝の気持ち忘れず、健康で、自分が信じた道を歩んでほしいと思います。時には涙を流すこともあるでしょうが、それもまた人生です。

ありがとうカード

ゲストの皆さんから、日々の感謝の気持ちを伝える「ありがとうカード」がたくさん届いています。

素敵なありがとうカードをご紹介します。

職員の皆さまへ

本日までお世話いただきありがとうございました。教習所での生活はとても充実しており、長いはずの2週間が一瞬で終わってしまいました。優しく話しかけてくださる方ばかりで、すぐに緊張がほぐれました。また、物覚えの悪い私に何度も説明するのは大変だったはずなのに、嫌な顔一つせず教えてくださったこと、本当に感謝しています。皆様のおかげで無事卒業することができたので、今後は無事故無違反でカーライフを楽しもうと思います。本当にありがとうございました。

すかわ あおい
壽 蒼生

皆さんの「ありがとう」を胸に、これから一人ひとりに寄り添い、安全で快適

な教習所を目指してまいります。どうぞ、素敵なカーライフをお送りください！

編集後記

夏の繁忙期が落ち着き、丹波篠山も爽やかな秋風が吹き始めました。

私たちは次の繁忙期に向けて、教習環境のハード・ソフト両面を整える大切な準備ができる時期です。ですが、この期間のお客様への心遣いを決して緩めることはありせん。すべてのお客様に変わらぬ最高のサービスを提供いたします。

そして十一月には、地域の方も一緒にとことん楽しむMランドフェスタも控えています。皆様への感謝を力に、一層精進してまいります。

近藤 正幸

Mランドフェスタ
-2025-
11/9 SUN **入場 無料**
9:00~15:00(予定)
皆さまのお越しをお待ちしております!